

# 2013年度 <sup>みやこ</sup>京カレッジ

## 京都力養成コース プログラム募集要項

—地域人材育成科目を貴学でもパイロット的に作りませんか?—

大学コンソーシアム京都は、1997年より京都市と連携して、単位互換制度を活用して大学正規科目を一般市民に開放する生涯学習講座「シティーカレッジ」を開設しました。

2007年度には、より深い生涯学習の機会提供を目指して「京カレッジ」に改編を行い、この中で、京都の地域活性化に貢献する人材を育成することを目的とする「特別コース」を設置しました。2009年度は「特別コース」を「京都力養成コース」へリニューアルを行い、2012年度は8科目が開設されています。

2013年度につきましても、以下のとおりプログラムの募集を行います。採択されたプログラムには、本財団より科目開設補助金を支給し、プログラムの円滑な実施をサポートいたします。本要項をご確認のうえ、社会人に向けた京都らしい、特色ある科目をご応募いただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。

### 『京都力養成コース』のメリット！

京都地域で活躍する人材を育成するための入門科目(キャンパス外での学習や鑑賞活動を通じて京都活性化のきっかけ作りとなる科目)、もしくはPBL科目(フィールド調査や企画立案実習を通して京都地域に貢献する科目)を京都市・大学コンソーシアム京都が募集します。

1. 採択された科目に対しては、大学コンソーシアム京都より補助金を支給します。
2. 広報・受講生募集活動は、京都市・大学コンソーシアム京都が行うため、大学にとっては経費節減になります。
3. 座学については、キャンパスプラザ京都でもオンキャンパスでの実施でも可能です。さらにキャンパスプラザ京都で座学を実施する場合、施設使用料・機器使用料は、大学コンソーシアム京都が負担します。

## ■ 募集する科目

「京都活性化に資する人材を育成するための科目」を以下の二区分にて募集します。

### \* 区分① 入門科目

キャンパス外での学習や鑑賞活動を通じて京都活性化のきっかけ作りとなる科目。

### \* 区分② PBL科目

フィールド調査や企画立案実習を通して京都地域に貢献する科目。

(PBLとは、Problem Based Learningの略で、学習者に実際のプロジェクトや擬似的なプロジェクトを体験させることにより、課題解決の手法や能力を修得させる育成手法です。)

## <入門科目の開講>

キャンパス外での学習や鑑賞活動を通じて京都活性化のきっかけ作りとなる科目として、2012年度は以下の科目が開講されています。

- ・「京を極める」(科目開設大学：花園大学)  
平安、室町、幕末の歴史を背景にそれぞれの時代の美術、文化、文化財などについて学ぶ。
- ・「酵母から「いのち」を知る～伏見の清酒を通して～」(科目開設大学：放送大学)  
酵母タンパクの解説と伏見の清酒醸造現場の見学により、酵母バイオテクノロジーを学ぶ。
- ・「公家から見た戦国社会－『山科家礼記』の世界－」(科目開設大学：大谷大学)  
15～16世紀『山科家礼記』を手がかりに戦国社会を探る。
- ・「嵯峨大念仏狂言と嵯峨野の文化」(科目開設大学：京都嵯峨芸術大学)  
嵯峨大念仏狂言を鑑賞するとともに嵯峨野の地が秘めている文化の多様性・重層性を学ぶ。
- ・「古都京都の魅力発見～多方面からその魅力に迫る」(科目開設大学：京都産業大学)  
京都に関する歴史、農業、人物、建造物など、京都の魅力をテーマに紹介する。
- ・「京都の伝統産業の場・もの・ひとから学ぶ」(科目開設大学：京都造形芸術大学)  
京都のものづくりの歴史と職人文化、伝統産業の現状について学ぶ。
- ・「京都の町の信仰と祭」(科目開設大学：龍谷大学)  
祇園祭の歴史的背景と現在の状況を検証し、京都の伝統行事を学ぶ。
- ・「平成(いま)を生きる京の伝統」(科目開設大学：大学コンソーシアム京都)  
京都に息づく数々の伝統文化の歴史と現在、そして未来について多角的な視座から取り上げる。

## ■ プログラム実施期間

プログラムは 2013年度(2013年4月～2014年1月)の期間内に開始し、完了してください。ただし、大学の学期制にはとられません。前期と後期にまたがった期間設定も可能です。

## ■ 応募資格

本プログラムは、以下のいずれかを満たした団体にのみ応募することが可能です。

- ① 大学コンソーシアム京都に加盟する大学・短期大学
- ② 行政機関、民間機関（NPO/NGO 法人、業界団体など）
- ③ 大学コンソーシアム京都

<注意>

- ・①で応募の場合、採択は1大学あたり2件までとします。
- ・②で応募の場合、①に該当する団体との連携が必要となります。
- ・同一内容での実施は、原則3年間までとします。

## ■ プログラム内容の要件

本プログラムは、以下の要件をすべて満たす必要があります。

- ① フィールドワークもしくはPBL（プロブレム・ベースド・ラーニング）を主とし、実践体験を通じて学習を進めるプログラムであること。
- ② 実施期間内に、入門科目は4コマ以上8コマ以下、PBL科目は9コマ以上15コマ以下で授業を実施すること。
- ③ 受講定員は、授業運営に差支えないよう設定すること。
- ④ 受講料は、できうる限り『無料』とし、徴収する場合は実費分のみとすること。

【入門科目の実施例】

- 1日目 … オリエンテーション・基礎学習
- 2日目 … フィールドでの実習⇄連結学習
- 3日目 … フィールドでの実習⇄連結学習

※連結学習では、フィールド実習を行ううで生じた学習項目について振り返りを行う

- 4日目 … 発展学習⇒研究レポート作成⇒振り返り
- 5日目 … 学習内容を今後活かす方策検討、実践現場へのマッチング ⇒修了

【PBLの実施例】

- 1日目 … 課題解決のためのチームミーティング、PDCAサイクル表の完成
- 2～7日目 … プロジェクトへの参加①～⑥
- 8日目 … 課題成果の中間発表
- 9～14日目 … プロジェクトへの参加⑦～⑭
- 15日目 … 課題成果の発表、まとめ ⇒ 修了

\* 1日に複数コマ実施することも可能です。

## ■ プログラム審査基準

本プログラムの採否に際しては、京カレッジ企画検討委員会により以下の項目の審査を行い、本財団の運営委員会にて決定します。

- ① 設定した目標を達成できる講座内容となっているか？
- ② 講座終了時に受講生が地域貢献へのモチベーションを持っているか？
- ③ 計画が具体的か？
- ④ 受講生が集まるような魅力的なテーマであるか？
- ⑤ 入門科目の場合、本プログラムの終了後、京都活性化のきっかけ作りに効果が見込まれるか？
- ⑥ PBL科目の場合、地域の教育力を活用するプログラムであり、本プログラム終了後、京都地域に貢献する人の育成が見込まれているか？
- ⑦ 社会的に類を見ない、個性豊かな特色のあるプログラムとなっているか？

## ■ 募集方法

2013年度京カレッジ京都力養成コースのプログラム募集方法は、以下のとおりとします。

- ①「京カレッジに関する事務担当者会議」にて、加盟大学・短期大学に募集開始と概要の説明を行います。
- ②財団ホームページ上に募集要項および申請書を掲載します。
- ③その他、京都力養成コースの募集テーマに沿ったプログラムを提供できると判断した団体に対し、個別働きかけも行います。

## ■ 申請期間・申請方法

応募される方は、所定の「2013年度京カレッジ京都力養成コース」申請書に必要事項をご記入いただき、下記申請先まで郵送にてご提出ください（郵送以外の方法による提出は不可）。

なお、2012年度に開講された科目につきましても、再度ご提出願います。

提出締切日は、2012年10月16日（火）必着とします。

## ■ 科目開設補助金

京カレッジ「京都力養成コース」として開講が決定した科目につきましては、以下のとおり科目開設補助金を支給いたします。

なお、税務処理の関係上、支給先は科目担当者の所属団体となります。あらかじめご了承ください。

<支給金額>

以下の2点を合計した金額を支給いたします。

- ①プログラム開設コーディネート料（一律100,000円）
- ②講師謝金（33,333円 × コマ数）

<経費免除>

キャンパスプラザ京都で座学を実施する場合は、以下の経費を免除します。

- ①キャンパスプラザ京都における教室使用料
- ②同機器備品使用料（全額）

## ■ 主催

京都市、公益財団法人 大学コンソーシアム京都

## ■ 申請先・お問い合わせ先

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 教育事業部 京カレッジ担当

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都

TEL : (075) 353-9140 FAX : (075) 353-9121 E-mail : tg@consortium.or.jp

URL : <http://www.consortium.or.jp/>

### 【参考】採択決定までのスケジュール

7月 5日（木）	「京カレッジに関する事務担当者会議」にて公募告知
7月中	財団ホームページ上に公募告知を掲載
10月16日（火）	申請書提出締め切り
11月中旬（予定）	京カレッジ企画検討委員会にて審査・選考
11月中旬（予定）	「京カレッジに関する事務担当者会議」にて審査結果を報告
11月下旬（予定）	選考結果を申請者に書面にて通知